

令和 年 月 日

(発注者)

様

(受注者)

代表者

住所

氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に基づく請負金額の変更請求について

標記について、令和 年 月 日付け契約締結した下記工事について、契約当初に比べて
工期内に主要な工事材料の価格に変更が生じたので、建設工事請負基準約款第26条第5項に基づ
き請負金額の変更を下記の通り請求します。

記

1 工事番号

2 工事名

3 工事場所

_____ 地内

4 契約番号

5 請負金額

_____ ￥

※請負金額の変更請求概算額は別紙「様式1-1」のとおり

6 工期

令和 年 月 日 から

令和 年 月 日 まで

7 請求する主要品目名・材料名

請負金額変更請求額概算計算書(様式1-1)参照

8 変更請求概算額

_____ ￥

※なお、今回の請求はあくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題ない。

請負金額変更請求額概算計算書

(発注者)

様

(受注者)

商号又は名称

代表者氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に伴う請負金額の変更請求額の内訳は、下記のとおりです。

工事番号

工事名

記

品目	規格	単位	数量	当初単価	当初想定金額	購入単価	購入金額	購入年月	差額	購入金額 申出※5	備考
変動額											
単品スライド請求額											

(注)

- 購入先、購入単価、購入数量等を証明出来る場合は、その資料(納品書等)を添付の上、併せて監督員に提出すること。証明できない場合は、概算数量を記載の上、その算出根拠を記した書類を提出すること。
- 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、複数枚になってもよい。
- 変動額から受注者の負担額を差し引いて、単品スライド請求額を算出する計算過程を、別紙に記載すること。
- 詳細に数量計算が出来る場合は、様式3を用いてもよい。
- 実際の購入金額によるスライド額算出を希望する場合は、「○」を記入する。実購入先を含まない2社以上の見積りを提出すること。

請負金額変更請求額概算計算書

(発注者)

様

(受注者)

商号又は名称

代表者氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に伴う請負金額の変更請求額の内訳は、下記のとおりです。

工事番号

工事名

記

品目	規格	単位	数量	当初単価	当初想定金額	購入単価	購入金額	購入年月	差額	購入金額申出 ^{※5}	備考
記載例											
○鋼	○	t	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	RO年〇月	〇〇〇,〇〇〇		
○鋼	○	t	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	RO年〇月	〇〇〇,〇〇〇	〇	
			〇〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		RO年〇月 計
○鋼	○	t	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	RO年△月	〇〇〇,〇〇〇		
			〇〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		RO年△月 計
○鋼計	○	t	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		○鋼合計
鋼材類 合計					〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		
□油	○	L	〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	RO年△月	〇〇,〇〇〇		
□油	○	L	〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	RO年△月	〇〇,〇〇〇		
			〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇〇,〇〇〇		〇〇〇,〇〇〇		RO年△月 計
□油計	○	L	〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇		〇〇,〇〇〇		□油合計
△油	○	L	〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	RO年□月	〇〇,〇〇〇		
			〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇〇,〇〇〇		〇〇〇,〇〇〇		RO年□月 計
△油計	○	L	〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇	〇〇.〇	〇〇,〇〇〇		〇〇,〇〇〇		△油合計
燃料油 合計					〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		〇,〇〇〇,〇〇〇		
変動額									〇,〇〇〇,〇〇〇		
単品スライド請求額									〇,〇〇〇,〇〇〇		

(注)

- 購入先、購入単価、購入数量等を証明出来る場合は、その資料(納品書等)を添付の上、併せて監督員に提出すること。証明できない場合は、概算数量を記載の上、その算出根拠を記した書類を提出すること。
- 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、複数枚になってもよい。
- 変動額から受注者の負担額を差し引いて、単品スライド請求額を算出する計算過程を、別紙に記載すること。
- 詳細に数量計算が出来る場合は、様式3を用いてもよい。
- 実際の購入金額によるスライド額算出を希望する場合は、「〇」を記入する。その場合、当該地域での市場取引価格が確認できるよう2社以上の見積りを監督職員に提出すること。

(様式2)

令和 年 月 日

(受注者)

様

(発注者)

建設工事請負基準約款第26条第8項に基づく協議の開始の日について（通知）

標記について、令和 年 月 日 付けで請求のあった下記工事における
建設工事請負基準約款第26条第8項の規定に基づき、スライド額協議開始日を通知します。

記

1 工事番号

2 工事名

3 スライド協議開始日

令和 年 月 日

請負金額変更請求額計算書

(発注者)

様

(請負者)
商号又は名称
代表者氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に伴う請負金額の変更請求額の内訳は、下記のとおりです。

工事番号 _____
工事名 _____
請負金額 _____

記

品目	規格	単位	数量	当初単価	当初想定金額	購入単価	購入金額	購入年月	差額	購入金額 申出※4	備考
記載例											
○鋼	○	t	○○.○	○○,○○○	○○○,○○○	○○,○○○	○○○,○○○	RO年○月	○○○,○○○		
○鋼	○	t	○○.○	○○,○○○	○○○,○○○	○○,○○○	○○○,○○○	RO年○月	○○○,○○○	○	
			○○○.○	○○,○○○	○,○○○,○○○	○○,○○○	○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		RO年○月計
○鋼	○	t	○○.○	○○,○○○	○○○,○○○	○○,○○○	○○○,○○○	RO年△月	○○○,○○○		
			○○○.○	○○,○○○	○,○○○,○○○	○○,○○○	○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		RO年△月計
○鋼計	○	t	○○.○	○○,○○○	○○○,○○○	○○,○○○	○○○,○○○		○,○○○,○○○		○鋼合計
鋼材類 合計					○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		
□油	○	L	○○○	○○.○	○○,○○○	○○.○	○○,○○○	RO年△月	○○,○○○		
□油	○	L	○○○	○○.○	○○,○○○	○○.○	○○,○○○	RO年△月	○○,○○○		
			○○○	○○.○	○○○,○○○	○○.○	○○○,○○○		○○○,○○○		RO年△月計
□油計	○	L	○○○	○○.○	○○,○○○	○○.○	○○,○○○		○○,○○○		□油合計
△油	○	L	○○○	○○.○	○○,○○○	○○.○	○○,○○○	RO年□月	○○,○○○		
			○○○	○○.○	○○○,○○○	○○.○	○○○,○○○		○○○,○○○		RO年□月計
△油計	○	L	○○○	○○.○	○○,○○○	○○.○	○○,○○○		○○,○○○		△油合計
燃料油 合計					○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		○,○○○,○○○		
変動額									○,○○○,○○○		
単品スライド請求額									○,○○○,○○○		

(注)

- 購入先、購入単価、購入数量等を証明出来る場合は、その資料(納品書等)を添付の上、併せて監督員に提出すること。証明できない場合は、概算数量を記載の上、その算出根拠を記した書類を提出すること。
- 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、複数枚になってもよい。同一の品目で同一年月でも複数の単価がある場合や購入先が異なる場合は、区分するものとする。
- 変動額から受注者の負担額を差し引いて、単品スライド請求額を算出する計算過程を、別紙に記載すること。
- 実際の購入金額によるスライド額算出を希望する場合は、「○」を記入する。その場合、当該地域での市場取引価格が確認できるよう2社以上の見積りを監督職員に提出すること。

請負金額の変更の対象材料計算総括表

(発注者)

様

(受注者)

商号又は名称

代表者氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に伴う請負金額の変更請求額の内訳は、下記のとおりです。

工事番号 _____

工事名 _____

請負金額 _____

記

品目	規格	単位	数量	購入単価	購入金額	購入先	購入年月	使用した建設機械名	使用目的	証明の有無	備考

(注)

- 購入先、購入単価、購入数量等を証明出来る場合は、その資料(納品書等)を添付の上、併せて監督員に提出すること。証明できない場合は、概算数量を記載の上、その算出根拠を記した書類を提出すること。
- 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、別紙にとりまとめるものとする。但し同一の品目で同一年月でも複数の単価がある場合は、区分するものとする。

また、当該品目が同一月で複数の工種や機械で使用されている場合、監督員より工種や機械毎等の内訳を提出するよう要求があった場合など、追加資料が必要な場合がある。

請負金額の変更の対象材料計算総括表

(発注者)

様

(受注者)

商号又は名称

代表者氏名

建設工事請負基準約款第26条第5項に伴う請負金額の変更請求額の内訳は、下記のとおりです。

工事番号 _____

工事名 _____

請負金額 _____

記

品目	規格	単位	数量	購入単価	購入金額	購入先	購入年月	使用した建設機械名	使用目的	証明の有無	備考
記載例											
軽油	1.2号	L	5000	90	450000	〇〇石油	R4年4月	現場内重機 (バックホウ 山積0.8m ³)	掘削(土砂)	有	別添〇〇
軽油	1.2号	L	10000	100	1000000	〇〇石油	R4年5月	現場内重機 (大型ブレーカ 1300kg級)	掘削(軟岩)	有	別添〇〇
軽油	1.2号	L	15000	100	1500000	〇〇石油	R4年6月	現場内重機 (バックホウ 山積0.8m ³)	路体盛土	有	別添〇〇
軽油	1.2号	L	14000	100	1400000	〇〇石油	R4年7月	現場内重機 (ダンプトラック 10t積)	残土処理	有	別添〇〇
軽油	1.2号	L	5000	110	550000	〇〇石油	R4年8月	現場内重機 (ラフテレーンクレーン 25t吊)	大型ブロック設置	有	別添〇〇
軽油	1.2号	L	1000	100	100000	〇〇石油	R4年9月	現場内重機 (バックホウ 山積0.8m ³)	U型側溝 床堀	有	別添〇〇
購入数量(証明済み)合計			50000								
軽油	1.2号	L	2000		0	〇〇石油	R4年10月	場外搬出 (ダンプトラック 10t積)	現場～〇〇地先 (流用先)運搬	無	別添〇〇
軽油	1.2号	L	2000		0	〇〇石油	R4年11月	場外搬出 (ダンプトラック 10t積)	現場～〇〇地先 (流用先)運搬	無	別添〇〇
軽油	1.2号	L	1000		0	〇〇石油	R4年12月	場外搬出 (ダンプトラック 10t積)	現場～〇〇地先 (流用先)運搬	無	別添〇〇
購入数量(未証明)合計			5000								

購入数量
(証明済み)
50,000L

購入数量
(未証明)
5,000L

(注)

- 購入先、購入単価、購入数量等を証明出来る場合は、その資料(納品書等)を添付の上、併せて監督員に提出すること。証明できない場合は、概算数量を記載の上、その算出根拠を記した書類を提出すること。
- 対象材料は、品目毎および購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、別紙にとりまとめるものとする。但し同一の品目で同一年月でも複数の単価がある場合は、区分するものとする。
また、当該品目が同一月で複数の工種や機械で使用されている場合、監督員より工種や機械毎等の内訳を提出するよう要求があった場合など、追加資料が必要な場合がある。

各種資機材の材料証明書

品目	規格	単位	数量	購入単価	購入金額	出荷元	搬入月日	運搬費の内燃料代						
								品目	規格	単位	数量	購入単価	購入金額	購入先
記載例														
再生骨材	40mm	m3	3,000	2,000	6,000,000	□□砂利	R4年4月	軽油	1.2号	L	700	90	63,000	△△石油
								軽油	1.2号	L	300	90	27,000	◎◎石油
再生骨材	40mm	m3	5,000	2,000	10,000,000	□□砂利	R4年7月	軽油	1.2号	L	500	100	50,000	△△石油
								軽油	1.2号	L	1000	100	100,000	◎◎石油
重建設機械	ブルドーザ 21t級	回	1	-	-	○リース	R4年8月	軽油	1.2号	L	500	110	55,000	○○石油
											計	3,000		

(受注者)

様

(発注者)

契約内容の変更について（協議）

工事番号

工事名

工事場所

地内

令和 年 月 日 付けで請求のあった（又は請求した）新潟県財務規則（昭和57年新潟県規則第10号）別記建設工事請負基準約款第26条第5項に基づく請負金額の変更請求について、建設工事請負基準約款第26条第7項に基づき、下記のとおり協議します。

記

1 請負金額を ￥ ★ 増額する。
減額する。

うち取引に係わる消費税及び地方消費税の額 円

(変更後契約金額 円) (変更前契約金額 円)

2 変更後工事完成期限を令和 年 月 日 とする。(付与日数 日)

(変更前完成期限 令和 年 月 日)

3 工事の変更内容は、新潟県財務規則別記建設工事請負基準約款第1条第1項の設計図書のとおりとする。

4 解体工事に要する費用等の変更 有 ・ 無

上記の変更に同意の場合は、別紙契約書に記名押印し、 あて提出してください。

契約番号

令和5年1月20日訂正

スライド額が請負金額の1%を超えない場合に限り本様式を使用する。

(様式4')

令和 年 月 日

(受注者)

様

(発注者)

契約内容の変更について (協議)

工事番号

工事名

工事場所

地内

令和 年 月 日 付けで請求のあった(又は請求した)新潟県財務規則
(昭和57年新潟県規則第10号)別記建設工事請負基準約款第26条第5項に基づく
請負金額の変更請求について、建設工事請負基準約款第26条第7項に基づき、
下記のとおり協議します。

記

- 1 スライド変更可否 スライドの適用が認められない
- 2 理由 スライド額が請負金額の1%を超えないため

契約番号

令和5年1月20日訂正

スライド調書

工 事 名	
請 負 金 額 (消費税相当額含む)	
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
スライド金額(S)	
うち取引に係る消費税 及び地方消費税の額	

物価の変動に基づくスライド額計算書

①請負金額 (消費税額含む)		
②設計書金額 (消費税相当額含む)		
③既済部分出来高金額 (消費税相当額含む)		
④スライド対象請負金額(①-③) (消費税相当額含む)		
⑤(M _(変鋼) -M _(当鋼)) 又は(請負の購入金額・鋼-M _(当鋼)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
	鋼材類	
⑤(M _(変油) -M _(当油)) 又は(請負の購入金額・油-M _(当油)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
	燃料油	
⑥(M _(変他1) -M _(当他1)) 又は(請負の購入金額・他1品目-M _(当他1)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑦(M _(変他2) -M _(当他2)) 又は(請負の購入金額・他2品目-M _(当他3)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑧(M _(変他3) -M _(当他3)) 又は(請負の購入金額・他3品目-M _(当他3)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑨(M _(変他4) -M _(当他4)) 又は(請負の購入金額・他4品目-M _(当他4)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑩(M _(変他5) -M _(当他5)) 又は(請負の購入金額・他5品目-M _(当他5)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	

⑪ (M _(変他6) - M _(当他6)) 又は(請負の購入金額・他6品目 - M _(当他6)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑫ (M _(変他7) - M _(当他7)) 又は(請負の購入金額・他7品目 - M _(当他7)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	
⑬ (M _(変他8) - M _(当他8)) 又は(請負の購入金額・他8品目 - M _(当他8)) の安い方(高い方) (消費税含む・落札率考慮)	対象品目名	

1) スライド額(S)

$$S = \{ (M_{(変鋼)} - M_{(当鋼)}) + (M_{(変油)} - M_{(当油)}) + (M_{(変他)} - M_{(当他)}) - P \times 1/100 \}$$

$$= \textcircled{5} + \textcircled{6} + \dots + \textcircled{13} - \textcircled{4} \times 1/100 =$$

$$M_{(当鋼)}, M_{(当油)} = \{ p_1 \times D_1 + p_2 \times D_2 + \dots + p_m \times D_m \} \times k \times 110/100$$

$$M_{(変鋼)}, M_{(変油)} = \{ p'_1 \times D_1 + p'_2 \times D_2 + \dots + p'_m \times D_m \} \times k \times 110/100$$

$$M_{(変他1, 2, 3, \dots)}, M_{(当他1, 2, 3, \dots)} = \{ p'_1 \times D_1 + p'_2 \times D_2 + \dots + p'_m \times D_m \} \times k \times 110/100$$

- M_(変鋼), M_(変油), M_(変他1, 2, 3, …) : 価格変動後の鋼材類又は燃料油又は他品目(1, 2, 3, …)の金額
- M_(当鋼), M_(当油), M_(当他1, 2, 3, …) : 価格変動前の鋼材類又は燃料油又は他品目(1, 2, 3, …)の金額
- P : スライド対象請負金額
- p : 設計時点における各対象材料の単価
- p' : 価格変動後における各対象材料の単価
- D : 各対象材料について算定した対象数量
- k : 落札率

2) スライド金額(S') = スライド額(S) × 100/110 =

(万円未満切り捨て)

3) 消費税相当額 = スライド額(S') × 0.1 =

4) スライド額(S) = スライド金額(S') + 消費税相当額 =